

教 育 委 員 会 資 料
 令 和 ７ 年 ４ 月 ２ ４ 日
 生 涯 学 習 課

第24回（令和７年度）櫻井徳太郎賞論文・作文募集について

１ 趣 旨

民俗学・歴史学・考古学等を通じ、地域を基盤にした学問の発展・発達と、地域を活かす立場から研究を進める人材の育成を図るとともに、次代を担う青少年の地域研究の奨励と、郷土愛を育むことを目的として実施する。

２ 論文・作文等の募集

全国より、一般は論文、小・中・高校生は作文等の一般公募を行う。

部門	文字数・内容など	申込締切
小・中学生の部	<ul style="list-style-type: none"> ●文字数 1,200～2,800字（小学生は800字から応募可） ●内容 地域の歴史や文化、生活、身近にあるものについて、調べことや考察をまとめ、その記録や写真を添付した作文。 	9月8日（月） 消印有効
高校生の部	<ul style="list-style-type: none"> ●文字数 4,000～16,000字以内 ●研究形態 個人研究または共同研究 （※共同研究は800字程度の論文要旨を添付） ●内容 地域の歴史・民俗学的なテーマで調査・研究し、考察したことをまとめた論文。 	
一般の部 （大学生・大学院生を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ●文字数 本文20,000～30,000字以内 論文要旨800字程度 ●内容 日本、東アジア地域の民俗学・歴史学・考古学等の視点や手法で調査・研究した未発表の論文。 特にフィールドワークなどによって見つけ出した新しい資料や、学際的な視点で書かれた未発表の論文。 ※過去の大賞受賞者は応募不可。 	

３ 留意事項

- （１）いずれの部門も二重投稿不可。
- （２）いずれの部門においても、応募者自身が執筆した未発表のものに限る。AI（人工知能）により生成、利用した作品は応募不可。
- （３）作品の審査前後にかかわらず、盗作、不適切な引用等があった場合は審査対象外とする。

4 公募のPR

(1) 周知方法

- ア 区ホームページ、区教育広報への掲載
- イ ポスター掲示
- ウ 募集要項、チラシ配布

(2) 周知先

- ア 全国の民俗学講座設置大学、及び主要大学
- イ 民俗学・歴史関係学協会等
- ウ 当区文化財係、郷土資料館と交流のある全国の教育委員会及び博物館施設
- エ 23区内の国公立小、中、高等学校、歴史研究会等の部活動設置高校
- オ 公募ガイド、その他歴史民俗関係雑誌への掲載（予定）

5 論文・作文の審査（審査委員は予定）

応募論文については、審査会を設置して大賞等の選定を行う。

- 審査委員 久保田昌希 氏（駒澤大学名誉教授、歴史学）
酒井 清治 氏（駒澤大学名誉教授、考古学）
真野 俊和 氏（元筑波大学教授、民俗学）
茂木 栄 氏（國學院大學名誉教授、民俗芸能）

6 入賞作の発表・公開

- (1) 「一般の部」大賞（奨励賞）論文及び「高校生の部」、「小・中学生の部」の入賞作は、受賞論文・作文集に掲載する。
- (2) 板橋区ホームページにおいて、「一般の部」の大賞（奨励賞）論文の概要及び「高校生の部」、「小・中学生の部」の入賞作を公開する。
- (3) 「小・中学生の部」は、入賞が決定した作文題名・氏名・学校名・学年を、受賞論文・作文集に掲載する。

7 表彰と副賞

(1) 一般の部

- 大 賞もしくは奨励賞 1 編
大 賞 賞金 30 万円・ 奨励賞 賞金 20 万円
※審査結果によっては受賞該当者が存在しない場合もある

(2) 高校生の部

- 最優秀賞 1 編 図書カード5 万円分
優 秀 賞 3 編 図書カード2 万円分
佳 作 5 編 図書カード5 千円分

(3) 小・中学生の部

- 最優秀賞 1 編 図書カード2 万円分
優 秀 賞 3 編 図書カード5 千円分
佳 作 5 編 図書カード2 千円分

※（2）（3）ともに、審査結果によっては、該当者が存在しない場合や受賞編数が増減する場合もある。

8 スケジュール（予定）

令和7年4月19日	区教育広報に掲載
5月	募集要項・ポスター発送
9月8日	応募受付締切
10月上旬	第1回審査会開催
11月上旬	第2回審査会開催・受賞者決定
令和8年3月21日	授賞式（板橋区立中央図書館）

第24回 櫻井徳太郎賞 論文・作文募集のお知らせ

板橋区教育委員会

本賞は、民俗学・歴史学・考古学を通じ、地域を基盤にした学問の発展・発達と、地域を活かす立場から研究を進める人材の育成を図るとともに、次代を担う青少年の地域研究の奨励と、郷土愛を育むことを目的としています。

フィールドワークや一次資料を対象とした調査・研究による論文（一般の部・高校生の部）、作文（小・中学生の部）を公募し、優秀作品には賞を授与します。

募集要項

《一般の部》（大学生・大学院生を含む）

募集内容

日本を含む東アジア地域に限定したテーマを設定し、民俗学(民俗芸能を含む)・歴史学・考古学的手法により調査・研究をしてまとめた研究論文。特にフィールドワークなどによって発掘した新しい資料や知見に基づき、学際的な視点によってまとめられた論文を募集します。ただし、過去の櫻井徳太郎賞大賞受賞者は応募することができません。

文字数・体裁

- ・20,000字以上、30,000字以内（400字詰原稿用紙換算50～75枚）。
- ・縦書、横書は任意で、1枚ごとに頁番号をつけてください。
- ・本文とは別に、表紙（論文題名と住所・電話番号・氏名・生年を明記）と、論文要旨（800字程度）をつけてください。
- ・パソコン等使用の場合は、A4判用紙に40字×30行一段組で印字してください。
 - ＊図・表・写真は文字数に含めません。
- ・フィールドワーク等の現地調査で得た資料情報、調査記録写真を必ず添付してください。

締切 令和7年9月8日（月）消印有効

《高校生の部》

募集内容

地域を限定して歴史・民俗学的なテーマを選び、フィールドワークや一次資料の調査を通して、個人で調べたことをまとめた論文、または共同で調査・研究をしてまとめた成果物を募集します。

文字数・体裁

- ・個人、共同研究いずれもは4,000字以上、16,000字以内（400字詰原稿用紙換算40枚以内）。
- ・共同研究については、800字程度で研究の目的と成果をまとめた要旨をつけてください。
- ・縦書、横書は任意で、1枚ごとに頁番号をつけてください。
- ・本文とは別に、表紙（題名と住所・氏名・学校名・学年を明記）をつけてください。
- ・パソコン等使用の場合は、A4判用紙に40字×30行一段組で印字してください。
 - ＊図・表・写真は文字数に含めません。
- ・フィールドワーク等の現地調査で得た資料情報、調査記録写真を必ず添付してください。

締切 令和7年9月8日（月）消印有効

《 小・中学生の部 》

募集内容

身近に存在する古くからあるものや昔の生活について、自らが実際に訪れたり、大人から聞き取りをしたりすることにより、感じたことやわかったことなどをまとめた作文を募集します。

文字数・体裁

- ・自筆の場合は、中学生は400字詰原稿用紙で3～7枚（1,200～2,800字）、小学生は400字詰原稿用紙で2～7枚（800～2,800字）とし、パソコン等使用の場合はA4判用紙に40字×30行一段組で印字してください。
- ・縦書、横書は任意とします。
- ・自らが実際に訪れた場所、調べたものの記録（表や図版）や写真・地図等を必ず添付してください。
- ・本文とは別に、表紙（題名・住所・氏名・学校名・学年を明記）をつけてください。

締切

令和7年9月8日（月）消印有効

留意事項

- （1）いずれの部も二重投稿は不可です。
- （2）いずれの部においても、応募者自身が執筆した未発表のものに限ります。AI（人工知能）により生成、利用した作品は応募不可です。
- （3）作品の審査前後にかかわらず、盗作、不適切な引用等があった場合は審査対象外とします。

賞・その他

— 賞 —

一般の部 大賞または奨励賞 1編 大賞賞金 30万円または奨励賞賞金 20万円

※一般の部の受賞はいずれか一賞のみとなります。また、受賞該当者がいない場合もあります。

	最優秀賞(各1編)	優秀賞(各3編)	佳作(各5編)
高校生の部	図書カード5万円分	図書カード2万円分	図書カード5千円分
小・中学生の部	図書カード2万円分	図書カード5千円分	図書カード2千円分

— 発表・公開 —

- ・入賞者には12月上旬頃に通知いたします。
- ・授賞式は令和8年3月を予定しています。
- ・受賞論文・作文と受賞者の氏名・学校名・学年などは、『第24回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究』に収録するとともに、板橋区ホームページで公開いたします。
- ・各受賞作品の著作権については著者に帰属しますが、出版権は主催者に帰属します。

審査委員（※敬称略）

久保田 昌希（駒澤大学名誉教授、歴史学） 真野 俊和（元筑波大学教授、民俗学）
酒井 清治（駒澤大学名誉教授、考古学） 茂木 栄（國學院大学名誉教授、民俗芸能）

応募・問い合わせ先

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1 板橋区教育委員会事務局生涯学習課文化財係
TEL 03-3579-2636 / FAX 03-3579-2635（生涯学習課直通）
URL <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/bunkazi/sakurai/index.h>



表に「櫻井徳太郎賞△△の部応募作在中」と朱書きしたうえ、「簡易書留」もしくは「レターパック」にて郵送するか、または持参してください。応募論文・作文は返却しないため、コピーや控えは手元に残すようご注意ください。作品返却が必要な場合は、切手を貼った返信用封筒を同封してください。